


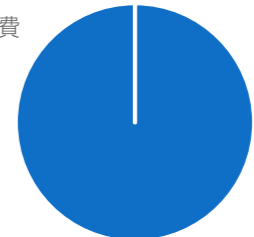


株式会社カスケード東京		業種	医療・福祉		
		事業所所在地	千葉県市川市		
被承継者		承継者			
	株式会社創コミュニケーションズ		株式会社カスケード東京		
	事業承継時年齢		59歳	事業承継時年齢	47歳
	業種		複合サービス業	業種	医療・福祉
	事業所所在地		東京都練馬区	事業所所在地	東京都港区
	売上高		～50,000万円	売上高	100,000万円以上
	資本金		24,500千円	資本金	10,000千円
	従業員数		9名	従業員数	540名
事業承継前の主たる事業内容		事業承継前の主たる事業内容			
東京都内にて、訪問介護・居宅介護支援センターなどを運営		東京都・千葉県・埼玉県・神奈川県等で介護サービス事業・児童福祉施設等を運営			
被承継者と承継者の関係		その他の親族外			
事業承継の経緯					
事業承継の検討を開始した時期：2019年1月					
被承継者		承継者			
看護師不足から稼働率が上がらず経営困難な状況が続いたことで事業閉鎖を検討していた。	承継前の事業課題	看護師不足から運営基準をギリギリで運営をしていた。人員増を検討し求人活動をしていた。			
①求人活動（広告活動） ②数人採用を行ったが、思うような人材に巡り合えなかった。	事業課題解決のために、 ①他に検討した手法は？ ②なぜ事業承継を選択したか？	①求人広告活動を行っていた。複数の人材紹介会社に依頼していた。 ②紹介会社からの求人よりも営業権のついた事業承継の方がスタッフの帰属意識が強いので、安定経営が出来ると思ったから。			
M&A仲介会社に後継者を探してもらった。	相手先との交渉開始のきっかけ	以前から取引のあるM&A仲介会社から紹介いただいた。			
売上が上がらず、人件費や固定費の維持コストが高み経営を圧迫していた。	課題と克服 ①財務	業務ソフトの統一化、事業所の統廃合などで経営効率を上げた。			
現状のサービスを利用している方々に不安を与えないように、なるべくスタッフ全員が異動できるように交渉を行った。	課題と克服 ②取引先との調整	近隣施設同士であったのでアクセス立地の良い事業所を残し、他の事業所を統廃合した。			
経理や総務業務を承継者に引き継いでもらった。	課題と克服 ③社内調整	マネージャーを配置して、すぐに相談に乗れるような環境を整備した。小まめな連絡を取り合うようにした。			
特になし。	課題と克服 ④諸手続き	都庁への申請業務も近所の合併だったため、廃止手続きのみで完了した。			
事業承継を行った時期：2020年4月					
事業承継の形態	事業承継 成立の決め手になったのは？				
事業譲渡	被承継者	承継者			
	特になし。	同一商圏で継承しやすい規模だった。精神科分野に特化した分野を持っていた。			

経営革新等に係る取組の標題
訪問看護の自動モニタリング・見守りによる集客力向上と収益改善

経営革新等に係る取組の内容	新商品の開発又は生産
<p>●他の業界同様に看護業界も、有給休暇取得義務化や時間外労働の上限規制に対応していかなければならないが、採用難や離職率の高さにより、看護現場は慢性的な人材不足に悩んでいる。当社は訪問看護事業を営んでいるが、施設の新規開設等により常に人材不足の状態にある。電子カルテなどのIT化も進めているが、さらなる介護スタッフの作業をアシストする仕組みが必要としている。また、量的側面に加えてスタッフ教育による施術技術の品質向上といった質的側面も課題になっている。</p> <p>●そこで、業務の軽減・及び安心・安全・他社との差別化を図るためにITを活用したシステムを構築する計画を立てた。そのため、本補助金を活用して、IoTを活用したウェアラブル（心拍、体温）センサーによるバイタルデータの自動収集および見守りシステムを導入した。これにより、訪問看護利用者が利用するウェアラブル機器（心拍・体温センサー付き）と利用者のご自宅に設置した画像撮影および体温測定可能なカメラ機器類が連携することで、距離の離れた看護ケアスタッフが利用者の体温・心拍管理およびリモートコミュニケーションが実現できる。</p> <p>●さらに、各種データの保存機能も付与して現場記録を自動化することで、正確な看護の対応と現場の負担軽減が実現出来る。また、必要に応じて医師とのリモート診察も実現可能となり、コロナ対策にも繋がる。こうした取り組みにより、他事業所との差別化を図ることで、集客力向上と業務の効率化及び収益増を目指す。</p>	
  	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
事業承継により看護師とご利用者が増えた。特に、精神疾患を持たれた患者様はいなかったため、新たな事業拡大の可能性が広がった。オンラインの体制も整備でき、24時間365日体制が揃ってきた。	<p>■ 外注費</p>  <p>経費の主な使い道 外注費：訪問看護遠隔モニタリングシステム導入費</p>

認定経営革新等支援機関の名称：千葉銀行			
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input type="checkbox"/> 補助事業の実施
事業計画の立案や実施にあたり、チェックやアドバイスをいただいた。また、認定申請時の書類作成アドバイス、協力等。			

今後に向けて～次の目標	
2020年から2023年に向けて	今後として、まず構築したシステムの正確性や問題点等を実績データをもとに改善を行い、精度・信頼性の向上、ケアスタッフ・利用者様が安心して利用できる更なるシステム構築を目指す。また、別システムと連携が出来るようなシステム構築を行い、業務効率化・人材定着化・働き方の改革を行ってきたい。
売上高	20 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
特になし。	承継後の弾みをつける機会になったら良いと思います。承継を事業拡大・発展の好機と捉えて前向きに取組めたら良いと思います。補助金事務局の方々が細かくアドバイスを頂いたので、目的を達成する事が出来ました。